☆ 子ども会（学習会）だより ☆

MY SKY 第21号 ☆ ☆

マイ スカイ

1996年11月5日火曜日発行（毎週火曜日定期発行）

発行者
板野中学校
学習会
編集・文責：吉成正士

以前宣伝させていただいた吉野川ピアノ紀行河野康弘コンサートに，１０月１２日，スタッフとして行ってきました。板中生の顔もちらほら見られました。その中で，感想を書いてくれている人がいましたので，紹介しておこうと思います。

> 河野康弘さんのピアノコンサートに行きました。初めはお母さんに言われて行ってたし，なんかピアノコンサートなんて堅苦しそうだったので，ちょっといい加減な気持ちだったんやけど，河野さんは，ジーパンとＴシャツで現れ，普通のおじさんで，すごく話もいい話というか，環境保護のためになる話を曲と曲の間にしてくれたし，ピアノもとっても上手でした。おかげでエレクトーンをやる気も少し出たし，なんか何でも捨てちゃったり，使わないままにしてしまうのはあかんことだってあらためて気づかされました。もっと自然や物を大切にして，いつまでもきれいな吉野川で，そしてきれいな地球でいられるように少しずつでも頑張りたいです。

コンサートの中で，「差別はなくさなければいけない」というお話を聞くことができました。意外でしたが，「あぁやっぱりそうなのか」と，今さらながら思ったりもしました。

文化に対して意識の高い人は，その文化を通して差別問題をも捉えられているんだなと感じました。板野町もいろんな文化に触れ，視野を広げていかなければならないのかもしれませんね。

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

◎いじめ（いじめの問題に関する総合的な取組について：文部省通信 vol.3）

「いじめ」についての広報誌が，文部省から届きました。生徒のみなさんも，保護者のみなさんも，私たち教師も一緒になって読み，考えなければならないことのように思いましたので，その一部を掲載しておこうと思います。みんなで読んでみましょう！

家庭が、学校が、地域社会が、「いじめの問題」で問われています！

いじめの問題は、家庭、学校、地域社会がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、一体となった取組を行っていけば、必ず改善が図れるものです。21世紀の日本、そして世界を担う子どもたちの健やかな成長を社会全体で支援していくために、今こそ私たち一人一人が行動するとき。それには、いじめの問題に対する基本的な認識をしっかりと持っておくことから始めましょう。

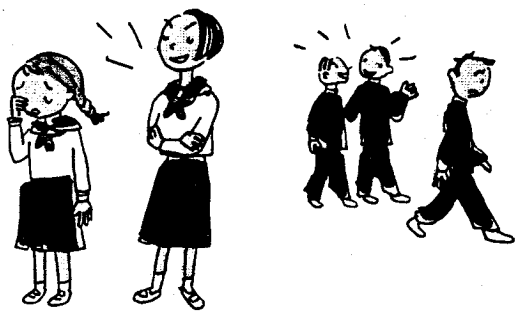
●いじめの問題に関する基本的認識

弱い者をいじめることは人間として絶対に許されない

どのような社会にあっても、「いじめは許されない」「いじめる側が悪い」という明快な一事を毅然とした態度で行き渡らせることが必要です。「いじめは子どもの成長にとって必要な場合もある」などという考えは認められません。また、いじめをはやし立てたり、傍観する行為も、いじめる行為と同様に許されません。子どもに「いじめを大人に伝えることは正しい行為である」という認識を持たせることも必要です。

いじめられている子どもの立場で、親身の指導を

子どもの悩みを親身になって受け止め、子どもの発する危険信号をあらゆる機会をとらえて鋭敏に察知するよう努めることが大切です。自分のクラスや学校にも深刻ないじめ事件が発生し得るという危機意識を常に持つこと。また、いじめの件数が少ないことのみをもって問題なしとすることは、早計です。いじめの多寡以上に大切なことは、いじめにいかに迅速かつ適切に対応し、いじめの悪化を防止し、早期に真の解決を図るかということです。



家庭教育のあり方が、いじめに大きく関わっている

いじめの問題の解決のためには、家庭がきわめて重要な役割を担っています。いじめの問題の基本的な考え方は、まず家庭が責任をもって徹底すること。家庭の深い愛情や精神的な支え、信頼に基づく厳しさ、親子の会話やふれあいの確保などが、いじめ問題の解決につながります。

教師の児童生徒観や指導のあり方が問われている

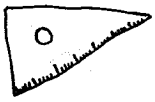
社会の過度の同質志向を排し、個性や差異を尊重する態度や、その基礎となる新しい価値観を育てる指導を徹底させること。また、道徳教育や心の教育を通じてお互いを思いやり尊重し、生命や人権を大切にする態度を育てることが必要です。特に、かけがえのない生命、生きることの素晴らしさや喜びなどについての指導を行うことが大切です。

●いじめの背景

いじめの背景についてはさまざまな議論があり、現時点で特定することはなお難しいことですが、アンケート調査の結果等をふまえると、家庭、学校、社会における要因が、複雑に絡み合っていると考えられます。

●家庭での基本的なしつけの不足

思いやりや正義感、善悪の判断についてのしつけが不徹底。また、「弱い者をいじめることは人間として絶対に許されない」との基本的な考え方が十分に徹底されていません。家庭は、子どもにとって真に安らげる「心の居場所」であるべきです。



●様々な体験活動の不足

住民の連帯意識の希薄化などによって、地域の教育力が低下しています。都市化の進展等による子どもの遊びの変化、生活体験の不足などが挙げられます。

●社会全体の認識の不足

社会全体に「いじめは絶対に許されない」という意識が不十分。異質なものを排除するという社会の同質志向の意識にも問題があります。

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

◎「詩国」(タンポポ堂　坂村真民)

坂村真民氏のことを思い出しました。坂村氏は，愛媛県の砥部町に住んでおられる著名な方ですが，その方が「詩国」という会報(？)を出しているのです。その会報を見ながら，「坂村氏の文章を読むのも久しぶりやなぁ」と感慨にふけっていました。その氏の代表的で，よく知られている「タンポポのように」という詩をご覧になってください。

タンポポのように

坂村　真民

愚痴を言うな
弱音を吐くな
勇気と正義をもって貫いてゆけ
ごまかしはすぐばれる
タンポポの根のように
踏みにじられても
食いちぎられても
芽を出し
花をつける
強さを持て
幸福をまき散らすというのが

タンポポの花ことばだが
自分の幸せを求めながら
人の幸せを考えてゆく
人間になれ
それをこのタンポポから学べ
きずつき倒れている
一羽の小鳥を助けてやる
善意の心を失わずにゆけ
零下十数度の寒冷にも堪えて咲く
この小さな野草の強さを
身につけようではないか

なかなか考えさせられる詩だと思います。いかがでしょうか？

この「詩国」という会報は，送料(80円切手)だけ送ると，送ってもらえるそうです。興味ある方は，次までお送りください。

〒791-21 愛媛県伊予郡砥部町高尾田167　タンポポ堂　坂村真民

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

◇ これからの日程 ◇◇ ◇

気づいてた人もいるでしょうが，MY SKYを無断で２号分ほど休ませてもらってました。いろんな理由があったのですが，その中の一つに「自分のような人間が，MY SKYなんていう大それたモノを出して良いものだろうか？そんな資格が自分にはあるんだろうか？もっと人間的に素晴らしい人が‥‥」という気持ちが沸き起こってきたからでした。

ちょうどその頃，１学年で瀬川先生が出している学年通信『ＳＣＲＵＭ』を見せてもらう機会がありました。板中同研の１年生の感想文を載せていたのですが，その中に，「今までは私もMY SKYをあまり読んでなかったけど，これからはしっかり読んで，家の人にも読んでもらって，部落問題について家族と話し合えるきっかけにしたいです」という内容の文章がありました。気分的にも滅入ってた時なので，すごく勇気づけらたことは確かです。そして，こう思ったのです。

「こんな自分の文章でも，どこかで読まれ，役にたってるのか‥‥それならもう少し頑張ってみようか。必要としてくれる人がいる限り，自分なりに歩いてみようか」

人間誰しも，自分の不出来な部分に気づいてるし，それを直そうと努めていると思うん

です。でも，なかなか直らない‥‥。その時に，こんな考えが浮かんではこないでしょうか？

「自分のことすらできん人間が，他人にとやかくは言えんのでは‥‥」

「自分のことすらできん人間に，とやかく言われたくないんでは‥‥」

でも，次の瞬間にはこう思いついているんです。

「そんなこと言ってたら，誰も何もしゃべれなくなるじゃないか！」

結局，完全な人間なんていないんですよね。みんな不完全で，それをちょっとでも高めようとしてる姿が，尊いんだと思うんです。だから，自分のことを棚の上にあげて喋ってもいいと思うんです。でないと，何も喋れないもんね。その中で，喋りながら，なおかつ自分を高めることに努めればいいんだよね。もし他人が自分のことをとやかく言ったとしても，気にせず自分のペースでやっていけばいいんだもんね。そんなわかりきったことを，あれこれと思い悩んでた数日だったのです。幸か不幸か，記事となるようなことが，次から次へと届けられてきます。それらを通して，みんなに差別問題を考えてもらうのが，私の仕事の一つです。届けられ，読んでくれる人がいる以上，MY SKYを作り続けたいと思います。これからもよろしくお願いしま～す！

★　★　★　★　★

11月６日(水)　板野郡同和教育研究大会(13:30～：藍住中学校)
　７日(木)　１年第４回全体学習１年Ｅ組：資料「メガネと補聴器」
　９日(土)・10日(日)　第２３回筋ジス文化祭(国立療養所徳島病院筋ジス病棟，鳴島養護学校)
　12日(火)　『MY SKY 第22号』発行日
　14日(木)　２年第４回全体学習２年Ｅ組
　17日(日)　板野養護学校文化祭
　19日(火)　『MY SKY 第23号』発行日

★　★　★　★　★

※　「ＭＹ　ＳＫＹ」に関する感想や意見を広く求めています。取り上げてほしいことや日頃疑問に思っていることなど，何でも結構です。ぜひとも吉成までお便りください！

※　本誌に掲載している参考文献等についてのお問い合わせは吉成までお願いします。みなさんもしっかりと原本を読んでみてください。